

技術士とは

国によって科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格

技術士資格を取得するメリット CPD: Continuing Professional Development

- 技術者としての資質・能力(Professional Competency)を示せる
- 科学技術の向上と国民経済の発展への関与を意識できる
- 資格取得後の継続研鑽(CPD)が容易となる
- 技術者としての生涯の設計図を描ける
- 組織内で自らの技術的能力を示せる(転職時にも有利)

技術士法



日本技術士会HP



試験・登録情報



原・放部会HP



詳細説明



より正確に 技術士とは

○技術士は、国の**技術士法**で規定された技術者

⇒技術士法（昭和五十八年法律第二十五号、初版：昭和三十二年法律第二百二十四号）

○技術士は「**終身資格**」、「**名称独占**」（法第57条）が規定された資格

技術士の定義（法第2条）

技術士とは、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者をいう

技術士の名称表示の場合の義務 （法第46条）

技術士は、その業務に関して技術士の名称を表示するときは、その登録を受けた技術部門を明示



技術士法



日本技術士会HP



試験・登録情報



原・放部会HP

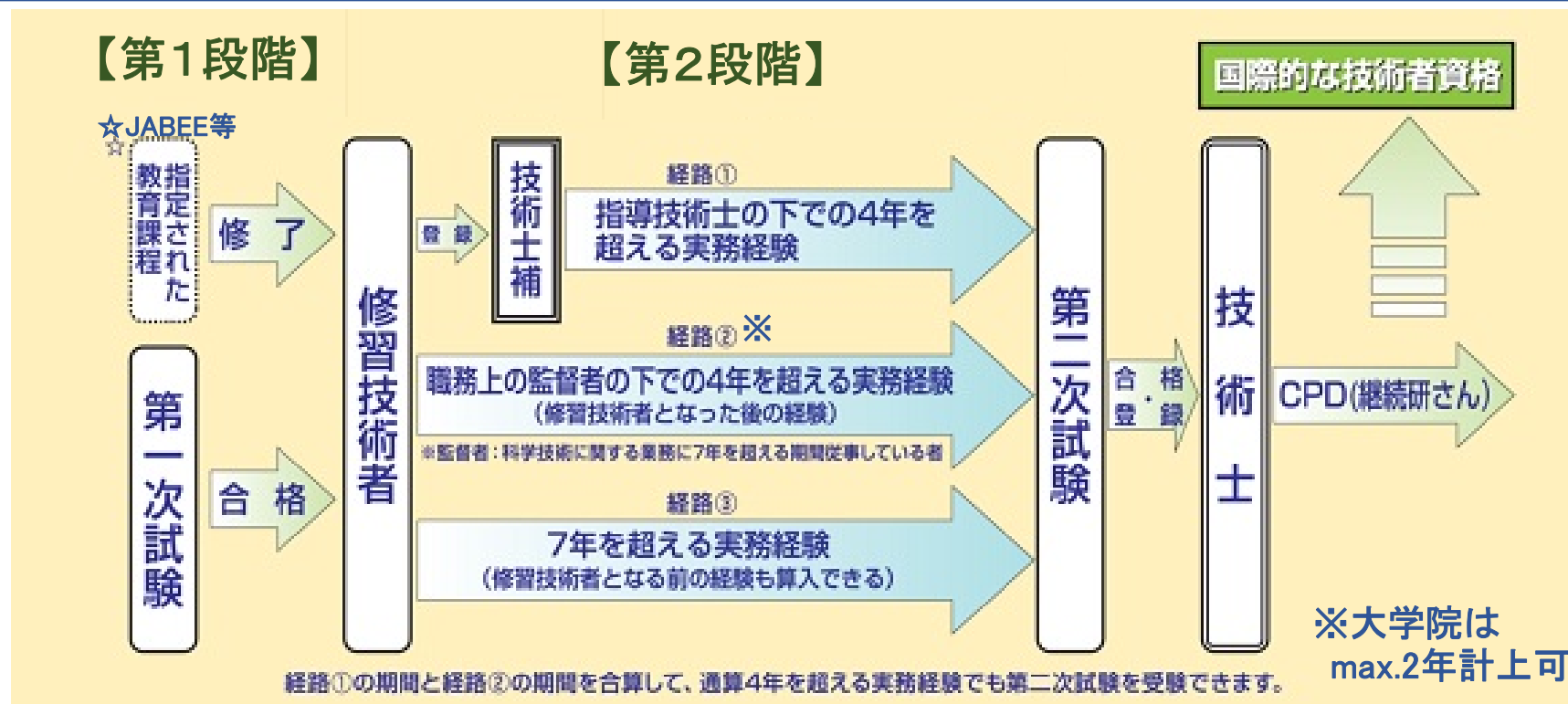


詳細説明



技術士試験の仕組み

- 技術士試験は第一次と第二次の2段階。**第二次試験に合格、登録して初めて「技術士」**
- 第1段階は、2つの経路（第一次試験合格 or 指定教育課程（JABEE等）修了）
- 第2段階は、3つの経路（最短で25 or 27歳で取得可能）注）受験資格に、学歴要件なし



技術士法

日本技術士会HP

試験・登録情報

原・放部会HP

詳細説明



一次・二次試験の受験のススメ

○貴方の未来、自分で描こう。 技術士を取りましょう !!

第一次試験:6月受験申込、筆記試験11月

第二次試験:4月受験申込、筆記試験7月

○まず、一次試験の合格に向け、頑張りましょう !!

科目	科目の内容（マークシート式）	合格ライン
1. 基礎科目	科学技術全般にわたる基礎知識（5群6問中各3問） 出題は、(1)設計・計画, (2)情報・論理, (3)解析, (4)材料・化学・バイオ, (5)環境・エネルギー・技術	15問中 8問正答
2. 適性科目	技術士法第四章(技術士等の義務)の規定の遵守に関する適性 (技術士の3義務2責務、技術士倫理、コンプライアンス等)	15問中 8問正答
3. 専門科目	原子力(炉)／放射線／エネルギー 35問中25問選択	25問中 13問正答

一次試験の全体の合格率は約40%（原・放部門は約60%）

合否基準 > 50%

技術士法

日本技術士会HP

試験・登録情報

原・放部会HP

詳細説明

